

防災キャンプ2018

～この地域を守るのは君たちだ！～

事業報告書

チームアワー

今回の防災キャンプ2018では、仲間同士の連帯感を高める為に参加者を6つのチームに分け、就寝を除きすべての活動はチーム毎におこないました。また、活動の合間にチームアワーを設け各チームに配置したチームリーダー（青年会議所会員）の指導により本事業がより有効な事業となるよう工夫をおこないました。

チームアワー① 自己紹介、班長、副班長の決定

防災講座終了後のチームアワーでした。まだ顔を合わせたばかりで何も知らない子ども達、「積み木自己紹介」でお互いの名前を覚えた後、班長・副班長を決めました。

チームアワー② 一日目のふりかえり

一日目最後のプログラム、就寝前のチームアワーです。一日目に学んだことを振り返るとともに、印象に残ったことや、楽しかったプログラムを話し合いました。

チームアワー③ ふりかえり・まとめ

最後のチームアワーです。直後の発表会の為に、防災キャンプ全体を振り返り、「楽しかったこと」「新たに知ったこと、学んだこと」「災害が起きたときにこうやって人助けをしたい」等を話し合っまとめました。



その他



2日目の朝食風景です。朝食では22年前に作られた非常食や4年前に作られた非常食等を食べました。



起床後のラジオ体操。集団生活を送る上では、みんなで同じ行動をすることが重要になります。子どもたちは朝から元気いっぱいでした。



閉会式終了後のお楽しみ昼食会。家族の方も一緒に楽しんでいただきました。ここでも非常食を使ったおにぎりを味わっていただきました。



問い合わせ先：一般社団法人沼津青年会議所 〒410-0832 静岡県沼津市御幸町17番12号
電話 055-933-7555 メール jci.numazu@gmail.com



このたびは、片浜地区コミュニティ推進委員会をはじめとする行政や関係諸団体のご協力のもと本事業が開催できたことにつきまして、厚く御礼申し上げます。さて、近年は厳しい経済状況に加え、人口減少などの進行によりまち全体の活力低下が懸念されています。また、家庭を取り巻く環境は共働き世帯が増え、子どもたちの生活環境にも変化が生じています。このような社会変化の中、沼津の未来を考えると、将来に対し主体的に捉えることのできるよう地域の子どもたちに健全な育成を図らなければなりません。防災をテーマに本事業を展開し、さまざまなプログラムを実施させていただきました。その中で子供たちが災害時に配慮すべき人が身近にいることを知ることで、このまちの人々とのつながりを持つきっかけとなり、郷土への愛着が育まれたと私は確信しております。沼津青年会議所は今後も地域のために活動をして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人沼津青年会議所 理事長 小野 好之



今回、片浜地区センターで初めて宿泊型の事業を開催させていただきました。片浜地区センターは大規模災害時には救護所に指定されているため、避難所には指定されていません。しかし、先日の台風では沼津市内でもいくつかの地区センターが緊急対応として避難所に指定されました。今後も地区センターの災害時の役割は、災害の種類や規模によって柔軟な対応をしていくことが求められます。その様な状況の中、今回沼津青年会議所の皆様と一緒に防災キャンプ2018を開催できたことは非常に貴重な経験になったと同時に、多くのことを学ばせていただきました。災害時に地区コミュニティが果たすべき役割とは何なのかをしっかりと考え、安心・安全な地域の実現に向けて邁進して参ります。ご協力いただきました全ての皆様へ感謝申し上げます。

片浜地区コミュニティ推進委員会
事務局長・消防防災部長・社会福祉部長 上 哲也

実施日 平成30年10月20日（土）～21日（日）
会場 片浜地区センター
参加数 児童45名、スタッフ約20名

全体スケジュール

一日目
開会式 ※
防災学習「災害から逃げる方法・自分の命の守り方」 ※
チームアワー①「自己紹介、班長・副班長の決定」
ロープワーク体験
食事
防災かるた・新聞紙スリッパ作り
居住スペース作り
レクリエーション
チームアワー②「一日目のふりかえり」
就寝（マットと寝袋）

二日目
朝食準備・居住スペース片付け・掃除
朝食「炊き出し、防災食を実際に食べる」
避難所運営ゲーム（HUG）小学生用簡易版
チームアワー③「ふりかえり・まとめ」
班ごとの発表 ※
閉会式「修了証授与」 ※
お楽しみ昼食会 ※

※印は保護者の方にも参加いただきました

食事メニュー
1日目夕食
カレー・マカロニサラダ・豚汁・麦茶・ジュース
2日目朝食
非常食・ヨーグルト・バナナ・牛乳・麦茶・ジュース
2日目昼食（お楽しみ昼食会）
やきそば・焼肉・フランクフルト・フライドポテト・飲料

この度は私共、一般社団法人沼津青年会議所、10月第1例会、防災キャンプ2018～この地域を守るのは君たちだ！～へ、ご参加いただき誠にありがとうございました。今回の事業は、小学生の防災意識を高めるとともに、避難所での生活の仕方を楽しみながら学んでいただく事を目的に開催させていただきました。より現実になくなるよう、実際に使用される資材を用意し、また、楽しみながら学べるような仕掛けをふんだんに盛り込ませていただきました。

その中で、特に学んで欲しかったのは「まずは自分の身を守る」という「自助」の部分です。自分が生き残らなければ、他の人の助けになる事は出来ないからです。

日本は災害大国と言われる程災害の多い国です。私たちが住むこの地域も、何時大きな災害にみまわれるか分かりません。その上で、備えておく事の重要性や、先にも述べた「自助」の部分が、参加して下さった小学生に少しでも伝わっていただければ幸いです。

一般社団法人沼津青年会議所 まちづくり委員長 細溝 剛久（担当委員会 委員長）

防災学習

防災学習では、日本沼津災害救援ボランティアの会（N V N）副理事長の石川學さんに「災害から逃げる方法・自分の命の守り方」というテーマで講演をいただきました。講演では、「自分の命は自分で守ることが大切」とお伝えいただき、具体的な避難所での行動については「避難所では自分の住所、名前、連絡先を明示し、身の安全につなげて」等の説明をいただきました。また、最後にはドレミの歌の替え歌で防災について大事な心構えを学びました。



ロープワーク

ロープワークは、沼津市防災指導員であり、片浜地区コミュニティ推進委員会事務局の上哲也さんに指導をいただきました。災害時の救出・救助用品として、ロープは必需品です。今回は、ロープワークはどんな時に必要なのか？ロープワークはどんな種類があるのか？災害時のロープワークのポイント等の説明をいただいた後、実際に「本結び」「巻き結び」「もやい結び」の3種類の結び方を練習しました。最後にはロープワークを使ったチーム対抗のゲームをおこないました。



防災かるた

防災かるたは、沼津市災害ボランティアコーディネーター協会の厚見秀人さんに協力いただき、高知県庁提供の「あそぼうさいカルタ」を使用しました。やがて来る南海トラフ地震に備え、地震・津波から身を守るために大事なことを子どもに伝え、記憶に残すことが、いざというとき、その子の命を救うこととなります。そのようなことを絵でイメージをわかせるながら、楽しく遊びながら学ぶことができました。



新聞紙スリッパ作り

地震発生時はガラスやがれきが散乱し、室内が危険な状況になります。そんな時に活躍するのが新聞紙スリッパです。新聞紙を使って簡単につくれるスリッパですが、子どもたちは柔軟な発想で教わったスリッパを更に進化させ、より機能的な新聞紙スリッパを作成することができました。災害時の他にも掃除や旅行先でも活用できるので覚えておくと便利です。



就寝スペース作り

避難所生活では、多くの場合に体育館等の広いスペースを使用してみんなで共同生活をおこないます。そのため、個人のスペースがなくストレスを感じる方も多いです。今回は、ダンボールとガムテープを使用して簡易的に間仕切りを作りました。このプログラムにおいても子どもたちの発想は柔軟で、教わった作り方を進化させ、それぞれの特色がある間仕切り作りをおこなっていました。



レクリエーション

レクリエーションとして「懐中電灯で夜の施設をまわってみよう」というテーマで、暗くなった地区センター館内をそれぞれが作った「新聞紙スリッパ」を履いてチームごとに歩きました。肝試しという要素もありましたが、途中にはガラス片に見立てた卵の殻がまいてあり、新聞紙スリッパの有効性と、暗い場所での足元確認の重要性を学んでいただきました。



HUG

避難所運営ゲーム、通称HUG（ハグ）は、沼津JCメンバーが指導を担当しました。大きな紙に片浜地区センターの見取り図が描かれており、「病気の方や障害のある方が避難してきたら、どの部屋で避難所生活を送ってもらうか」を子供たちが真剣に議論しました。ここでも、最初に行った防災学習と同様に、「災害が起きたらまず生き抜こう。生き残ることができたら、人の役に立とう」という意識を全員で共有しました。



発表会

最後に発表会を行いました。そこで子どもたちは「楽しかったこと」「新たに知ったこと、学んだこと」「災害が起きたときこうやって人助けをしたい」の3項目について、思い思いの感想を述べていきました。一貫して楽しむことができたということは、皆の共通認識だったようです。学びをどう活かしていけるかについては、それぞれの個性が出されました。楽しい学びの中で、災害に対する意識が変わった事がわかる発表でした。



発表会での意見

楽しかったこと

- ・ダンボールで自分の部屋を作った
- ・居住スペースづくり
- ・ロープワークと最後にやったゲーム
- ・防災かるた
- ・寝袋で寝る
- ・他の学校の子と友達になれた
- ・HUG（避難所運営ゲーム）
- ・レクリエーション（卵の殻）
- ・新聞紙スリッパ
- ・全部楽しかった

新たに知ったこと 学んだこと

- ・ロープの色々な結び方
- ・津波が高くてくまってくる
- ・耳が聞こえない人との会話は、紙をつかったり口を大きくして話す
- ・身近な物でいろんな物が作れること
- ・新聞紙スリッパの折り方
- ・非常食が長持ちすること
- ・どのような所が危険かわかった
- ・防災かるたで色々な災害を知った
- ・段ボールでの間仕切りの作り方
- ・ロープには人を助ける力があること

災害が起こったとき こうやって人助けしたい

- ・避難所でスリッパを作ったりしたい
- ・みんなにやさしくする
- ・ロープで人を助けたい
- ・避難所で手伝いをして手とか足が不自由な人の人助けをしたい
- ・困っている人がいたら出来るかぎり手伝いたい
- ・まず自分の命を守ってその後人を助ける
- ・自分ができるとは手伝う
- ・声をかける

本事業にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

沼津市危機管理課長 榎原和浩様、沼津市消防団6分団 梶泰久様、日本沼津災害救援ボランティアの会の皆様、沼津市災害ボランティアコーディネータ協会 厚見秀人様、沼津青年会議所特別会員 加藤明子様、園田勝様